

令和3年5月25日

保護者様

神崎市立千代田中部小学校
校長 實松 清之

登下校時のマスク着用について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、検温、マスクの着用、手洗い・うがい等にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

さて、梅雨に入り、湿度が高い日が続いています。今後、気温も高くなれば、熱中症が発症する危険性が高まることが予想されます。

そこで、下記の表のとおり、気温が28度以上、もしくは暑さ指数（WBGT）が25以上の場合は、熱中症の危険性が増すことを考慮し、マスクは外して下校させるようにします。

登校の場合も、保護者様の判断で、外した方がよいと思われる場合は、外して登校させていただいても構いません。その際は、外したマスクを折りたたんでポケットに入れるか、マスクを入れる袋等を準備していただけると助かります。なお、子ども達には、マスクを外し登下校する場合は、前後の間隔を十分とることを指導しますので、ご家庭でのお声かけについても、よろしくお願いします。

記

運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が 上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・ 塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水 分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必 要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注 意。

(公財) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019) より

※不明な点は、右の連絡先まで、お尋ねください。

<連絡先>

教頭：最所 美紀

TEL：44-2005